

新人賞 桂 小すみ 【音曲師】

東京学芸大学教育学部音楽科卒。

在学中に文部省(当時)派遣によりウィーン国立音楽大学に留学、ミュージカル専攻科を特別賞で修了。

音楽科教員を経て、NHK 邦楽技能者育成会 44 期修了。

細棹三味線を野口美恵子、長唄三味線を杵屋佐之忠に師事、杵屋佐之萌の名を許される。国立劇場にて 2 年間の寄席囃子研修修了後、2003 年よりお囃子として落語芸術協会に所属。

寄席、各種落語会、学校公演等に参加。

三味線漫談の玉川スミに俗曲を師事、師の引き立てにより、2018 年寄席囃子から音曲師に転向、三代目桂小文治一門、桂小すみとなる。

令和元年度、国立演芸場花形演芸大賞「銀賞」

令和二年度、同「金賞」

令和三年度、同「大賞」受賞。

唄・三味線の他尺八を吹き洋の東西を問わず取り組む。古典のみならず、オリジナルの新作も手がけ、三味線又はピアノ弾き語りのシンガーソングライターとしても活動。

演劇、朗読劇の音楽制作(作曲・演奏)や、ラジオ番組ジングル制作にも取り組む。

桂夏丸とのユニット「サマスモ」、三遊亭遊七、神田桜子とのユニット「コムソウ」での音楽余興つき公演、またクラシック音楽家とのユニット「りゅばん・ぷりえーる」他、各種多分野の音楽家、パフォーマーとの交流も意欲的に挑戦。

浅草演芸ホール 8 月上席の囃家ディキシーバンド「にゅうおいらんず」公演ではキーボードを担当。